

平成22年度畜産環境保全特別指導事業  
オガ粉等の生産・販売に関するアンケート（製材業者）

アンケート配布数（79）件 回収率（54.4%）  
返信回答数（43）件 うち扱い該当なし（8）件

- 1 貴社では、オガ粉又はチップを生産・販売（供給）していますか。  
（27件）①オガ粉のみ生産・販売している  
（     ）②チップのみ生産・販売している  
（ 8件）③オガ粉及びチップ両方を生産・販売している  
（     ）④どちらも生産・販売していない → このアンケートの対象外です。
- 2 オガ粉又はチップの最近1年間の生産・販売量はどのくらいですか。  
①オガ粉 ・ $m^3$  換算 （10件・6,460  $m^3$ ）  
          ・2 t 車換算 （21件・730 台）  
②チップ ・ $m^3$  換算 （3件・5,340  $m^3$ ）  
          ・2 t 車換算 （5件・500 t ）
- 3 オガ粉の生産はどのように行っていますか  
（ 6件）① オガ粉用に生産している  
（22件）② 木材加工時の副産物として生産している  
（ 7件）③ ①と②の両方  
（     ）④ その他（                    ）
- 4 オガ粉を供給している相手はどの業種ですか。  
（24件）①畜産業  
（ 4件）②畜産業以外の産業（具体的に：キノコ栽培系）  
（16件）③オガ粉販売業者  
（ 1件）④その他（                    ）
- 5 畜産用のオガ粉又はチップを販売（供給）している量は年間どのくらいですか。  
①オガ粉 （10件・1,824  $m^3$ ）  
          （19件・547 台／2 t 車換算）  
②チップ （ 2件・654 t）
- 6 畜産側へ供給できるオガ粉・チップを増やすことは可能ですか。  
（ 2件）①増産する予定なので可能  
（ 6件）②他の業種分を減らして、畜産分を増やすことも可能  
（24件）③現状維持で不可能  
（     ）④他の業種分を増やして、畜産分を減らすので不可能  
（ 5件）⑤その他（畜産用は価格的に使用可能か不明。）
- 7 貴社において、畜産業者に販売している価格はいくらですか  
①オガ粉 （10件・約2,800円） $m^3$   
          （19件・約9,900円）2 t 車換算  
②チップ （ 1件・12,500円）2 t 車換算  
③その他 （ 1件・1,000円） $m^3$

8 オガ粉・チップの生産における問題点は何ですか。

- ①オガ粉 ( 4件) 原料の入手量が一定しない  
( 7件) 販売量が一定しない  
( 6件) 製造コストがかかりすぎる  
(15件) 販売価格が低すぎる  
( 1件) 販売先が一定しない  
( 2件) その他 ( )

- ②チップ ( 1件) 原料の入手量が一定しない  
( 1件) 販売量が一定しない  
( 2件) 製造コストがかかりすぎる  
( 6件) 販売価格が低すぎる  
( ) 販売先が一定しない  
( ) その他 ( )

9 貴社の販売(供給)情報を、本会から畜産側に提供することを希望しますか。

- ( 4件) 希望する  
(12件) 希望しない  
(16件) 詳しく聞いてみてから考える

10 オガ粉・チップの生産・販売(供給)について何かお考えがあればお書きください。

- 1) 県内の畜産業者がオガ粉不足と聞いていますが、今一部の畜産業者が使用している悪いオガ粉で、家畜に病気でもと思うと心配しています。
- 2) H21年度オガ粉製造機を追加導入したため、生産量増加を見込んでいる。
- 3) 現状のオガ粉は広葉樹(ナラ、ブナ他キノコ用)、針葉樹(スギ、ヒノキ、カラマツ)等のオガ粉であれば、若干生産量を増やすことは可能です。
- 4) 製造コストの割におが粉価格が低すぎる。
- 5) 当社のオガ粉は年間を通して安定的に供給できます。価格が出れば畜産用を増やす。
- 6) オガ粉製造機を導入したいが経費がかかるので考えている。原料はケンタが相当出るので間に合うと思う。機械導入すれば増産も可能です。
- 7) これから先オガ粉の需要が見込まれるのであれば、機械を増設して増やすことも考えるが採算がとれるかが問題です。
- 8) 畜産用オガ粉を供給できる体制を国、県で考えて、畜産業者に対して補助等を検討された方が良いと思う。
- 9) 針葉樹のオガ粉2,000円/m<sup>3</sup>、広葉樹5,000円/m<sup>3</sup>~販売している。
- 10) 畜産家の順番待ち状態です。
- 11) 製材所も少なくなり、ケンタ等の入手が困難です。
- 12) 当社のオガ粉は加工副産物が主なため、不況と公共事業減少という現状からすると増産は不可能。畜産家の引き取り希望は多い。